関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類を死亡させる恐れのあるプランクトンは確認されませんでした。

また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大で0.18細胞/ml、ギムノディニ
ました。

藻津以外の海域において、高濃度のケイ藻類が確認されました。他県の観察結果による
ンクトンの増殖が確認された例もありますので、引き続き注意してください。

今後、海色や飼育魚の状態を注視し、異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導

※（本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡

採集地点 採水時間	水深 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/l)	コクロディニウム ポリクリコイデス
ヒロウラ（別図①） 採水時間　10:23 透明度　－m	7.0	18.4	34.5	7.7	0
栄喜奥（別図②） 採水時間　9:57 透明度　－m	5.0	18.7	34.7	7.5	0
青瀬山（別図③） 採水時間　10:05 透明度　－m	6.0	18.6	34.7	7.5	0
宿毛湾中央（別図⑤） 採水時間　9:40 透明度　－m	0.0	19.5	34.9	6.9	0
藻津定点（別図⑨） 採水時間　9:23 透明度　－m	0.0	19.5	34.9	6.9	0
片島出荷場前 採水時間　9:06 透明度　－m	3.0	18.1	34.4	7.6	0